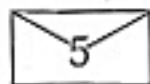




# カナダからの手紙

会吉RC交換留学生の見た世界



浦田 大地

皆さんこんにちは。今年の冬は非常に厳しいらしいですが、実は最近雪が降っておらず気温も高いので快適なあと感じています。しかし今度雪が溶けて氷となり、道路が非常に滑りやすく危険なため安心できません。

さて先週、サルベージンアーミー（主にホームレスの方々を対象に生活支援を行っている組織）という慈善宗教団体の事務所でボランティアを行いました。施設内には驚くほどの数の食品、衣類、玩具類が棚に並べられており、それらは全て一般家庭、スー

パーマーケットなどから送られてくることでした。話を聞かかると限りなく無償で提供されているらしく、住民の厚くしっかりとした支援に心



サルベージンアーミーに届けられたたくさんの物資

を打たれました。ここには賞味期限が切れそうなものを棚から運び出し、食品を必要としている方に提供できるよう机の上に並べるといったものでした。一見簡単そうに思えるかもしれませんが、あまりに物資が豊富のために単純作業ながらも忙しく、充実した活動ができました。

でもその半面、生活に苦んでいる人が少なくないことに気づかされました。実はこのボランティアを行う前、全くと言っていいほどホームレスの方々の存在を認識していませんでした。

た。というのもここは冬になるとマイナス30度なんて珍しくない場所で、その環境下で決まった所に興味がないという状況は考え難かったのです。

ボランティアを通して感じたことは、まだまだ十分な支援が行われていないということです。確かにその団体の物資を見る限り体はなんとか保てるかもしれませんが、心はどうなのでしょう。僕は学校で心理学を専攻していましたが、ホームレスの方々の多くが厳しい飲酒や薬物乱用を経験し、双極性障害などの精神病をも患っているということを知りました。そのことを学びました。そのことを通じて、彼らが社会に溶け込めるよう心のケアが必要だと強く感じました。これからは単なる物資の支援だけではなくプラスαの支援が重要だと思っています。

ボランティアに参加

## 厚い支援に心打たれ

身

（カナダ留学中、会吉市出

身）  
（月一回掲載）